

七小・生活指導だより

令和2年(2020年)7月6日
国立市立国立第七小学校
校長 大山 紀子
生活指導部主任 櫻木 崇史
第2号

早いもので7月となりました。学校に子供たちが戻ってきて、ひと月が経ちます。子供たちは様々な制限がありながらも、「新しい生活様式」を理解し、その中でしっかりと学校生活を送っています。夏休みまでの残り約ひと月、教職員一同、気持ちを引き締め、引き続き子供たちが安心・安全に学校生活を送れるように支援していきます。



【残りひと月の学校生活について】

7月の学校生活も引き続き、学校医の七条先生のご助言を基に、教育活動を行っています。休み時間や清掃活動、給食の時間について以下のように決めました。

○健康観察票の確認について

引き続き健康観察票は教室の入室前に、担任が確認します。記入漏れや観察票忘れがないよう、ご配慮ください。なお、2学期以降も観察票のご提出をお願いします。その際、観察票のチェックがよりスムーズにできるよう、学校でケースを用意する予定です。詳しい内容が決まりましたら改めてお知らせします。

○休み時間について

中休み・昼休みはこれまで同様、極端な密を避けるため、分散での校庭使用としました。なお、休み時間の開始と終了時に手洗いをすることも引き続き指導します。社会の情勢を鑑み、2学期以降のことは改めてお知らせします。

○清掃活動について

これまでは各学級「さようなら」の後に輪番制で掃き掃除を中心に活動してきました。こちらでも当面の間は同じ方式で行います。また6年生につきましては、1年生の教室・図工室・算数教室・音楽室・図書室の清掃も行います。こちらでも主に5分程度の掃き掃除としました。

※原則水曜日に清掃活動は行いません。

みんなでんでいます

朝の7時半ごろ、七小の用務員さんが階段すべての手すりを消毒してくれました。これからも、児童の安全な学校生活を目指し、職員全員で頑張っていきます。



とても嬉しい連絡が地域の方からありました！

先週、地域の方より「雨の中、倒れている方に、救急車が来るまでずっと傘をさしてあげていた。すすんで人助けをする七小の6年生に感動しました。」との連絡をいただきました。心で思っただけでもいざ行動に移すことは勇気のいることです。困っている人を救おうという行動、とても素晴らしいです。心温まるニュースを七小にもたらしめてくれてありがとうございました。

連日の雨、また午後からの急な雨など、傘を必要とする場面が多くなりました。傘立ての構造上、折り畳み傘の収容が難しいことや、お子さんがなかなかうまく置けずにいる場面が見られます。可能な限り、長傘をお子さんに持たせていただくと助かります。折り畳み傘は、置き傘にお使いいただくことをおすすめします。